

## 報道関係者各位

## 【取材のご案内】

発達支援研究の成果公開 学園祭で「なかよしカフェ・フォーラム」  
「カルピス」づくりや音楽通じて、発達支援プログラムの可能性探る

発達支援に対する研究が進むにつれ、発達の遅れや発達障害に関する多様な支援プログラムが開発されています。とりわけ、生まれつき脳の発達が通常と違うために幼児期から発現する遅れや障害は、通常の育児ではうまくいかないことも多く、保護者や周囲の人々を戸惑わせてきました。しかし、その特性を本人や家族・周囲がよく理解し、本人に合うやり方を見つけてあげることができれば、日常生活や学校、職場にも十分対応可能なことも分かってきました。本人が本来の持っている能力を社会が引き出してあげるために、発達支援に対する理解の深化とともに、本人が安穩に過ごせる環境づくりが求められています。

実践女子大学（東京都日野市、城島栄一郎学長）は、日野キャンパスで行う常盤祭（学園祭、スケジュール参照）を利用して、発達に遅れのある7歳児A君（ダウン症児）が来場者に「カルピス」を振る舞う「なかよしカフェ」を実施します。コミュニケーション能力発達のため5年間取り組んだプログラムの成果を公開。普段と違う環境に置かれても能力を発揮できるようになった児童の成長をご覧ください。併せてフォーラムでは音楽活動の発達支援教育への活用を討論。幼少期に受けた音楽活動を含む発達支援プログラムが奏功し、成人後は障害児施設の介護職として働く傍ら、地域の楽団に参加して海外公演もこなすようになったダウン症女性が講演します。

発達の遅れや障害のあるお子さんを持つ親御さん、そして特別支援教育に関心のある皆さんに会場いただきたいイベントです。「カルピス」（協賛：アサヒ飲料株式会社）は無料で先着600人に提供。7歳児がカフェ店員として10日（日）、「自分につくる」「誰かのためにつくる」「相手に合わせて濃さを調節する」など、TPO（時と場所に合わせた振る舞い）を踏まえて来場者をおもてなしします。

フォーラムは「音楽とつながる・音楽と生きる」をテーマに介護職として働くダウン症成人女性の歩みを紹介。女性の母親が「育てて伝えたいこと」と題して保護者の思いを語ります。

本研究は2015年度、生活科学部生活文化学科の長崎勤教授（専門：教育心理学、発達支援学）とカルピス株式会社との共同研究としてスタートしました。2016年度はアサヒグループホールディングス株式会社の寄付研究となり、2017年度からは文部科学省科学研究費補助金の採択を受けています（2019年度まで）。月2回日野キャンパスのプレイルームにA君と保護者を招き、「包括的発達支援プログラム」を開発。ゼミの3～4年生がプログラムごとにチームを作り、指導を行っています。

## 「なかよしカフェ」概要

▼日時 2019年11月9日（土）～10日（日）

▼場所：実践女子大学日野キャンパス（〒191-8510 東京都日野市大坂上4-1-1）1号館1～2階

▼タイムスケジュール ★取材日は7歳児A君が登場する10日をお勧めします。

9日10:00～14:00 1階111教室 カフェサービス、ポスター展示、ビデオ放映

10日10:00～13:00 1階111教室 同上

（うち11:00～12:00）7歳児A君と彼の友達2人が登場

10日13:00～14:30 2階121教室 「なかよしカフェ」フォーラム（別紙参照）

## ■プレスリリースや本件の取材に関するお問合せ

実践女子学園 経営企画部広報課

10日に取材ご希望の方は、11月8日（金）までに事前に連絡をいただけますよう、お願いいたします

電話(042) 585-8804 E-mail: [koho-ml@jissen.ac.jp](mailto:koho-ml@jissen.ac.jp) 公式HP: <http://www.jissen.ac.jp/>

司会進行 安部瑞帆、村上有咲（生活文化学科）

	内 容	時間 (分)	開始	終了
	企画趣旨説明 安部瑞帆	3	13:00	13:03
■第一部	介護職として働くダウン症成人女性Mさんの歩み			
	1、私の仕事、私と音楽—介護職として働く、地域楽団で楽しむ 本人	15	13:03	13:18
	2、娘を育てて伝えたいこと 母親	10	13:18	13:28
■第二部	人と人をつなげる音楽の力			
	3、7歳児の音楽活動による成長 鈴木はるみ、八島佐紀子（社団法人でんでん虫）、杉山志津枝（明星？ 大学通信教育部大学院）、中田千絵（生活文化学科）	15	13:28	13:43
	4、特別支援学校・幼稚部での音楽活動の可能性 根岸由香（筑波大学附属大塚特別支援学校）	10	13:43	13:53
	5、音楽活動による地域へのコンサルテーション 渡邊紀子（社団法人でんでん虫）	10	13:53	14:03
	6、専門の立場からのコメント			
	1) 音楽教育の立場から： 越山沙千子（実践女子大学生生活科学部生活文化学科）	5	14:03	14:08
	2) 小児科学・サクソ奏者の立場から 塩川宏郷（実践女子大学生生活科学部生活文化学科）	5	14:08	14:13
	7、参加者からのコメント・意見			
	8、演奏・みんなで奏でよう、音楽			
■第三部	8、介護職として働くダウン症成人女性Mさんのエレクトーン演奏	15	14:13	14:28
	9、参加者とともに奏でよう、音楽	5	14:28	14:33